

東京農工大学大学院における教育研究上の目的に関する規程の一部改正

| 現行 | | 改正 | | 改正理由 |
|---|---|--|---|------|
| <p>本則</p> <p>(農学府における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)</p> <p>第3条 農学府は、農学、生命科学、環境科学分野の諸課題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を有する人材を養成し、各専攻については、次のとおりとする。</p> | | <p>本則</p> <p>(農学府における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)</p> <p>第3条 農学府は、農学、生命科学、環境科学、<u>動物医科学</u>分野の諸課題の解決と持続発展可能な社会の形成に資するため、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を有する人材を養成し、各専攻については、次のとおりとする。</p> | | |
| 専攻名 | 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 | 専攻名 | 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 | |
| 生物生産科学専攻 | 食料生産技術と環境保全の調和、持続的な生物生産の確立、食料自給率向上や安定供給、動植物の生産機能の解明、バイオマス利活用技術の開発等に貢献する能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 生物生産科学専攻 | 食料生産技術と環境保全の調和、持続的な生物生産の確立、食料自給率向上や安定供給、動植物の生産機能の解明、バイオマス利活用技術の開発等に貢献する能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 共生持続社会学専攻 | 人文社会科学分野において、農学諸分野の科学技術を理解し、企画・課題遂行・調整などに卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため共生人間学・環境社会関係学・食糧環境経済学の専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 共生持続社会学専攻 | 人文社会科学分野において、農学諸分野の科学技術を理解し、企画・課題遂行・調整などに卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため共生人間学・環境社会関係学・食糧環境経済学の専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 応用 | 生体分子化学、生理生化学、分子生物学、環境老年学な | 応用 | 生体分子化学、生理生化学、分子生物学、環境老年学な | |

| | | | | |
|------------|---|------------|---|--|
| 生命化学専攻 | どの生命機能を理解し応用する専攻分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 生命化学専攻 | どの生命機能を理解し応用する専攻分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 生物制御科学専攻 | 植物、微生物、昆虫などの生物の制御及び生物間相互作用に関する研究分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 生物制御科学専攻 | 植物、微生物、昆虫などの生物の制御及び生物間相互作用に関する研究分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 環境資源物質科学専攻 | 環境資源物質科学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。特に資源物質の構造解析や機能、利用技術、環境への影響・負荷の低減化に寄与できる人材を育成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 環境資源物質科学専攻 | 環境資源物質科学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。特に資源物質の構造解析や機能、利用技術、環境への影響・負荷の低減化に寄与できる人材を育成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 物質循環環境科学専攻 | 環境化学及び環境生物学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 物質循環環境科学専攻 | 環境化学及び環境生物学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 自然環境保全学専攻 | 野生生物、山地・森林、都市及び人間を対象にして、自然環境の持続的利用と保護及び回復に関わる自然環境保全学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 自然環境保全学専攻 | 野生生物、山地・森林、都市及び人間を対象にして、自然環境の持続的利用と保護及び回復に関わる自然環境保全学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 農業 | 農学と工学の手法を駆使して、海外も含めた農山村地域 | 農業 | 農学と工学の手法を駆使して、海外も含めた農山村地域 | |

| | | | | |
|----------|---|----------|---|--|
| 環境工学専攻 | の発展に貢献し、持続的食料生産システムや地域環境整備を行う農業環境工学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 環境工学専攻 | の発展に貢献し、持続的食料生産システムや地域環境整備を行う農業環境工学分野において卓越した能力を有する、広い視野に立つ専門家及び研究者を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| 国際環境農学専攻 | 学際的な環境農学分野において、国際的視野を持ち、諸外国の文化を理解し、国際社会において指導的立場で活躍できる専門家及び研究者を養成する。この目的を達するために前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | 国際環境農学専攻 | 学際的な環境農学分野において、国際的視野を持ち、諸外国の文化を理解し、国際社会において指導的立場で活躍できる専門家及び研究者を養成する。この目的を達するために前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |
| (新設) | | 共同獣医学専攻 | 獣医基礎分野、動物衛生・公衆衛生分野及び高度動物臨床分野を先導する高度な研究能力を持つ人材を養成する。この目的を達するため前記専門分野における革新的学術研究を併せて実施する。 | |

附 則(平成30年4月1日教規程第6号)
この規程は、平成30年4月1日から施行する。